

# No. 23 号 ひらつかの風

2021年 11月号  
(令和3年)

ひらつか市民活動センターは、さまざまな分野の市民活動団体やボランティアなどで活動されている人たちや、これから活動しようとしている人たちを応援します。

## CONTENTS

- P.1 .....令和4年度 市民活動推進補助金の募集開始
- P.2~3 .....団体レポート「子ども食堂～食を通じた地域とのつながりの場に～」
- P.3 .....平塚市情報
- P.4 .....センター情報



団体  
レポート

## 子ども食堂 『食を通じた地域とのつながりの場に』

### 平塚市情報

令和  
4年度

## 市民活動推進補助金の募集開始

平塚市市民活動推進補助金は、市民による公益的活動を、補助金の交付によって支援する制度です。

令和4年度補助希望団体の募集を開始します。

活動を始めたい！発展させたい！補助金を活用したい！という市民活動団体・地域活動団体の皆さま、申請お待ちしております。

応募方法等は市ウェブを御参照ください

([http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/kyodo/page37\\_00016.html](http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/kyodo/page37_00016.html))

問い合わせ先 ● 平塚市協働推進課 ☎ 21-9618



団体  
レポート

# 子ども食堂 『食を通じた地域とのつながりの場に』

子ども食堂は、全国に約5,000ヶ所あります。(NPO法人全国子ども食堂支援センター・むすびえ調べ:2020年10月時点)。神奈川県は、全国3位で約300ヶ所が運営しています。子ども食堂の多くは、コロナ禍で一同に会する居場所を開けなくなりました。しかし、多くの子ども食堂は、支援を笑顔や力に変え、食材や弁当の配布などを続けています。今号では市内3つの「子ども食堂」の様子をご紹介します。



## 平塚バプテスト教会こひつじ食堂

### ●行列待ちのニコニコ笑顔

オープンは2020年10月、始める際に活動の方法を詳しく教えてくれたのは「よこうち子ども食堂」様でした。食堂名の「こひつじ」は、子どもに限定するのではなく幅広い年齢向けとするために、聖書に登場する「ひつじ」から取りました。場所は豊原町の平塚バプテスト教会です。コロナ禍中は配布形式で最大170食分を作ります。食事の準備は、地域の方々や教会のメンバーが協力しています。安全衛生にも注意し、手袋やヘアネットを使用するほか、食品衛生責任者もいます。

代表の平野さんは「子ども食堂を始めて人の関わりに変化があります。食材の提供以外に、地域や団体との交流が増え、特にご近所の交流が増えました。行列待ちの子どもたちの笑顔や、夫の帰りが遅く寂しい食事になる親子が参加してくれたことも嬉しかったです。」また、「コロナが終息に向かったら食事会を再開したいです。そして、地域の子ども食堂や関連する方々と交流し、地域の輪を広げたいです」と話してくださいました。食材は、わたぼうし様、フードバンク湘南様、匿名の個人の方や全国子ども食堂支援センター・むすびえ様等々からご提供受け、また平塚商工会議所青年部様や平塚市役所の支援もあります。「より多くの方と食事が出来る様に更に広がって欲しい」と言葉を添えました。



## ひばり野のなかま達(キッチンひばり野)

### ●「孤食」から徐々に笑顔に

2020年4月にオープンしました。目的は、子どもたちに「孤食」をさせず、栄養ある食事を提供すること。「ひばり野」は、地域密着の思いを込め昔の呼称を使用しました。場所は、中原の「麵屋 DINING NANASHI」をお借りしています。コロナ禍中は、配布形式で50食分を用意しています。

安全衛生は消毒や手袋だけではなく、提供された食材を管理栄養士に連絡し、栄養バランスも考慮してメニューが決まります。

大畑代表は、「通りがかりに子ども食堂のノボリを見て、後日食材を寄付してくれることもあり、興味を示す人が増え、活動の認知が進んでいる」と話します。また「ひばり野のなかま達が運営する学習教室に来ている児童が、子ども食堂に通いだしてから徐々に笑顔が増えてく様子が見て取れた時は嬉しかった」と話されました。

野菜・食材等の提供に松ヶ丘農園耕作会、フードバンク湘南、フードバンクかながわ、匿名の方々や団体わたぼうし様からも、お米や野菜等の食材の寄附を戴いていますが、主菜となる肉魚等の購入費もままならないところが課題です。

今後は、高齢ボランティアの生き甲斐となる活動の場や地域の居場所づくりに向けて動き出しているとのことでした。



## YYキッチン

### ●「一緒につくって・食べる」

平塚市八重咲町の平塚YWCA会館で2020年7月にオープンしました。担当の佐藤さんと西原さんは、「食育」が目的で、子どもと「一緒につくる・食べる」をモットーに、「忙しいからと雑にはしない、ひと手間加えた安全で安心できる食事と、居心地のよい明るい空間づくりを大切にしている」と話します。コロナの影響で子どもと一緒につくることはまだできませんが、子どもとその家族、高齢の方など、幅広い年齢層に利用していただいているとのこと。

八重咲町で開催するにあたっては、YYキッチンは、他にない特長を出したかったと言います。

大きなキッチンをもつ平塚YWCA会館でできることが、「一緒につくる」ということでした。

YYキッチンをとおして、核家族や独居の方の居場所となれるよう、多世代協働のコミュニティづくりにも取り組んでいます。平塚YWCAは、木造ですが広い空間があり、ベビーベッドや談話室がある温かい雰囲気です。

今後は、更に立地や空間を活かした運営で「一緒につくって・食べる」を増やす活動をしたいと思いを語ってくださいました。





平塚市の  
子ども食堂を  
ご紹介！

平塚 YEG（平塚商工会議所青年部）では、平塚市の発展を目指して子ども食堂を  
応援する情報を一覧できるサイトを運営しています。

是非ホームページをご確認ください！（※利用料等についての情報を加筆しています）

ひらつか子ども食堂 → [http://www.hiratsuka-yeg.jp/hiratsuka\\_kodomosyokudou/](http://www.hiratsuka-yeg.jp/hiratsuka_kodomosyokudou/)

※利用料金は変更の可能性もあります。詳しくは各子ども食堂にお問合せください。

名称	所在地	開催日・時間・料金等
よこうち子ども食堂	平塚市横内 3823-1	毎月第2・第4月曜 17:30～19:00 子ども 100円（大学生まで）、大人 300円
八幡こども食堂	平塚市西八幡 1-1-27 さかえビル1階東側	毎月第3水曜 17:00-19:00 子ども・大人 100円（税込）
朝ごはんこども食堂@あおば	平塚市明石町 19-24	第1月曜 6:00～8:00 第3木曜 7:00～8:00 子ども 50円、大人 200円
なでしこ放課後みんなの食堂	平塚市花水台 36-15 花水台会館	第3木曜 17:30～19:00 子ども 100円（小学生～高校生）、大人 300円
YYきっちゃん	平塚市八重咲町 24-31 平塚YWCA会館	第1火曜 17:30～19:30 子ども 100円、大人 300円
キッチンひばり野	平塚市中原 1-13-13	第2火曜、第4火曜 17:30～19:30 子ども 100円、大人 300円、65歳以上 200円
平塚パペスト教会こひつじ食堂	平塚市豊原町 4-5	毎月第3・4金曜 17:00～19:00 子ども 100円（18歳以下）、大人 300円（コロナ禍中は200円で販売）
こどもOK食堂	平塚市南金目 716-4	毎月第4日曜日 予約制 ①17:30～18:30 ②19:00～20:00 子ども 100円（小学生以上）、大人 300円（中学生以上）
★UBAカフェ	平塚八幡宮	第2日曜 11:00～14:00 子ども 100円（小学生以上）、大人 500円、（未就学児は無料）
★シェアディナー		最終水曜 17:00～20:00 子ども 100円、大人 300円（未就学児は無料）

★の共通コンセプト…「ママはご飯づくりをお休みをして、子どもとの時間をゆったり過ごしましょう」



市内の様々な形の子ども食堂がセーフティネットとなって子どもたちを支え、地域の繋がりを作っています。  
子ども食堂をはじめてみたい、という方はセンターまでご相談ください。

平塚市情報

令和4年度  
実施

協働事業プレゼンテーションを開催しました！

令和3年10月2日(土)に令和4年度に実施する協働事業のプレゼンテーションを開催し、審査会での審査・  
選考の結果、提案のあった4事業が採択されました。

令和4年度実施行政提案型協働事業

- ①『ひらつか着地型観光推進委員会 × 商業観光課』（継続3年目提案）  
着地型観光プログラムの開発とイベントの周知及び実施

令和4年度実施市民提案型協働事業

- ①『NPO 法人フードバンク湘南 × 環境政策課』（継続3年目提案）  
平塚市食品ロス削減事業並びに相対的貧困解消事業
- ②『NPO 法人湘南 NPO サポートセンター × 協働推進課』（継続2年目提案）  
社会環境の変化に対応した地域活動の仕組みづくり支援事業
- ③『NPO 法人ぜんしん × 農水産課・農業委員会事務局』（新規提案）  
農業体験を通して不登校やひきこもりの若者と人材不足に悩む農家をつなぐ就農支援事業  
～平塚市「スマートライスセンター」の通年営業モデルの創出に向けて～



提案された協働事業の内容等は [こちら](http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/kyodo/page-c_02194.html)

[http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/kyodo/page-c\\_02194.html](http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/kyodo/page-c_02194.html)



プレゼンテーションの様子は [こちら](https://www.youtube.com/channel/UCOouvz9BGOHsQfSpyTdV0sQ/videos)

<https://www.youtube.com/channel/UCOouvz9BGOHsQfSpyTdV0sQ/videos>



YouTube  
公開中!!

※協働事業の相談は協働推進課で随時受け付けております。

センター情報

● 団体活動にお役立てください!

「市民活動フォーラム」 若者のボランティア活動～取材を通して得られたこと～

3名の大学生が市民活動団体を取材し、ボランティア情報誌「ひらつかの空」の編集に関わってくれました。取材・編集活動を通して学んだことや気づきを報告します。

日時 ● 11月28日(日) 10:00～11:20

定員 ● 50名程度 オンライン開催

対象 ● 市民活動団体・関心のある方 参加費 ● 無料



第7回 NPO@リレートーク「セルフリンパを学んでみませんか？」

ストレス社会と言われる昨今、心と身体のメンテナンスは大切です。

第7回 NPO@リレートークは、自ら免疫力を高める“セルフリンパ体操”を教えてください。

日時 ● 12月5日(日) 14:00～15:30

ゲスト ● 湘南いきいきリンパの会 代表 添田睦子さん

対象 ● NPO 法人・市民活動団体・関心のある市民 定員 ● 25名 オンライン開催 参加費 ● 無料



市民活動応援講座「助成金申請書の書き方講座」

「せっかく応募したのに採択されなかった」そんな経験はありませんか？

助成金を獲得するには、申請書をしっかり書くことが大切です。

当日は申請書の書き方のコツを丁寧にお伝えいたします。

日時 ● 12月18日(土) 13:30～15:30

講師 ● 東樹康雅氏 (一般財団法人東京都つながり創生財団)

会場 ● ひらつか市民活動センター

対象 ● NPO 法人・市民活動団体・関心のある市民 定員 ● 20名 参加費 ● 無料



NPO 法人のための会計税金個別無料相談会

毎年人気の税理士による会計税金個別無料相談会を今年も開催します。お早めにお申込みください。

日時 ● 12月15日(水) ①18:00～18:45 ②19:00～19:45 各2団体(計4団体)

相談員 ● 税理士：小原勝己氏・徳永宣明氏

会場 ● ひらつか市民活動センター

対象 ● NPO 法人 相談料 ● 無料



年末年始センターのご利用についてのお知らせ

- ◆ 閉館日…12月28日(火)～1月4日(火)
- ◆ 年始は1月5日(水)より開館いたします。
- ◆ 会議室の予約について…令和4年4月1日(金)～4月4日(月)の予約は、令和3年12月27日(月)から受け付けます。

編集後記

緊急事態宣言が解除され、センター会議室の予約もほぼ満室に近い状況になってきました。リアルに顔を合わせて活動している団体さんの表情も明るく、とても楽しそうです。

さて、センターでは10月25日より市民活動ポスター展・我が家のお弁当自慢コンテスト・チラシ大賞の展示が始まっています。近隣にお越しの際は、是非センターにお立ち寄りいただきお気に入りのチラシや写真に一票を投じてください。お待ちしております。(さ)



編集・発行

ひらつか市民活動センター

(開館時間 9:00～22:00 年末年始、施設点検日を除く)

〒254-0045

神奈川県平塚市見附町 1-8

TEL ● 0463-31-7571 FAX ● 0463-35-6601

Eメール ● info@hiratsuka-shimin.net

URL ● <http://hiratsuka-shimin.net>

センター登録団体数 (2021年10月15日現在)

登録団体数 ● 450 団体

(内訳 市民活動団体…328 団体、一般団体…122 団体)

